

湯沢翔北高等学校雄勝校 中期ビジョン（5か年計画）

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

I 学校の現状や課題

令和2年4月、湯沢翔北高等学校の地域校として開校した。前身である雄勝高等学校で実践されてきた「地域に根ざした学校づくり」という学校の方向性を継承し、地域を愛し、地域から学び、地域に貢献する生徒の輩出に努めていく。生徒数の減少によって活動の幅に制約を受けることになるが、学校を取り巻く地域の人々の協力を得ながら、地域と共に歩む雄勝校の教育活動の質をいかに高めていくかが本校の課題である。

II 学校を取り巻く将来の状況の予測

本校が位置する湯沢雄勝地区は急速な少子高齢化が進行しており、人口減少とりわけ年少人口の大幅な減少が見込まれている。このことは中学校卒業生数の減少に直結し、令和7年3月の中学校卒業生数は令和2年3月に比べて約30%減少すると推測されている。また、人口の自然減に加えて人口流出による社会減も進んでいる。そのため、地域内の労働力不足が社会問題となっており、若者の地元定着が今後も大きな課題となる。このような状況の中で、本校はフットワークが軽く臨機応変な対応が可能であるなど小規模校ならではのメリットを活かし、地域の活性化に向けての取組、地域を支える人材の輩出など、地域の期待に応える役割を担うことになる。

III 目指す生徒像及び学校像（基本理念）

新たな普通科高校の在り方を模索しつつ、主体的に努力することに喜びを見いだし、地域の活性化に貢献できる社会人の育成。

校訓 誠心 創意 自立

教育目標

- (1) まごころと思いやりの心で接することができる人間の育成を目指す
- (2) 学びを生かし、新たなもの創りの意欲に満ちた人間の育成を目指す
- (3) 自らの考えを具体的に行動に表すことができる人間の育成を目指す
- (4) 自啓自発の精神のもと意欲と努力を惜しまない人間の育成を目指す
- (5) ふるさとを愛し、自ら進んで地域社会に尽くす人間の育成を目指す

教育方針

- (1) 基本的な生活習慣の確立を図るとともに、責任と協調を重んじ、礼儀正しく他の人をおもいやる心を育み、社会に意欲的に貢献できる人間を育てる。
- (2) 学習指導を通じて、自ら学び考える主体的な学習態度を身に付けさせ、学力の向上を図る。
- (3) 体験的学習を通じて、生徒一人ひとりの豊かな個性や能力を伸ばし、将来にわたって社会的自立を果たす人材づくりを行う。
- (4) ふるさとを愛し、自ら進んで地域の活動に参加し、地域社会に尽くす人間の育成を図る。

IV 5年間を通しての具体的目標

[在学中]

- ・ 皆勤および精勤者 50%以上
- ・ 地域活動による単位取得 100%

[卒業時]

- ・ 地元就職率 80%以上
- ・ 湯沢翔北高校専攻科介護福祉科への進学者 3名以上

[卒業後]

- ・ 就職者の早期離職率 5%以内

具体的な取組等

学習指導

- ・ 個に応じた丁寧な学習指導によって、基礎・基本の定着と思考力の育成を図る。
- ・ 地域の人材など外部の教育資源を積極的に活用する。
- ・ 家庭学習の成果を評価し、学習への意欲を喚起する。
- ・ 読書活動のさらなる推進と図書館の活用を目指す。
- ・ 学校設定教科「地域」並びに「総合的な探究の時間」を活用し、地域を学び、地域を理解する活動を実践する。
- ・ 体験学習の機会を増やし、感動体験の充実を図る。

進路指導

- ・ 生徒の内面を聞き出す個別面談や個に応じた補習や添削指導を充実する。
- ・ 生徒の主体的なインターンシップを推進する。
- ・ 福祉、家庭、商業などの資格取得を奨励する。
- ・ 地元企業等との連携を深め、就業体験の機会を設ける。

生活指導

- ・ 規範意識を育成し、ぶれない指導を徹底する。
- ・ 学年部を中心とする教職員と保護者の連携を図る。

特別活動等

- ・ ボランティア活動・体験活動の意義を考えさせ、主体的に参加する生徒を育成する。
- ・ 生徒会活動や部活動において翔北本校との積極的な交流を図る。
- ・ 地域のNPO法人等の活動と連携して、部活動を充実させ、感動体験の機会を増やす。

令和3年4月2日策定